

反映状況票

(単位:百万円)

府省名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	2年度予算額	3年度予算案	増▲減額	反映額
防衛省	(39) 早期契約の促進状況	本省	—	59,296	44,200	▲15,097	▲61 (契約ベース)
事案の概要	防衛装備庁における研究開発案件について、早期装備化に向けた取組を強化すべく試作品事業の早期契約を積極的に行い、さらには加工作業時期の前倒しにより、安価な加工費率で価格算定が可能となることで、予算総額低減を図る。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 試作品事業について

予算計上初年度に研究開発を開始するために、少なくとも第2四半期までに契約を行うなど、早期の契約締結に努めるべきである。

また、仕様案の調整を概算要求や年度業務計画と並行して実施することで、契約手続きの早期着手を行い、効率的な予算執行に努めるべきである。

2. 加工費について

試作品事業の予算編成における加工費の計上については、早期契約の可能性を十分に考慮した予算積算を行うべきである。

反映の内容等

1. 試作品事業について

令和2年度研究開発事業において、仕様書案の早期策定及び庁内関係部署との調整を行い、契約手続きの早期着手に努めたことで、令和元年度の契約実績と比較すると、第2四半期までに契約を行った件数の割合が2.4倍となった。

防衛装備庁では、令和元年度に続き、令和2年12月15日に早期装備化に資する早期契約の推進について通知文書を発出することにより、早期に契約手続きを進められるように関係部署と調整するよう周知徹底を図った。

2. 加工費について

試作品及び試験の事業計画について、早期契約を踏まえた安価な加工費率での価格算定による予算積算を行うことにより、令和3年度予算案の計上額の低減を図った。(反映額: ▲2百万円)

さらに早期契約を行うことで十分な事業工程の確保が見込まれることから、試験に必要な研究用器材を連続して使用することが可能となり、結果として研究用器材の所要数が減少することによって、令和3年度予算案の計上額の低減を図った。(反映額: ▲59百万円)